



令和2年度企画展とイベント変更のお知らせ

今年度開催を予定しておりました企画展とイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期または中止とします。詳しくは、ホームページをご覧ください。

開催延期イベント

- 資料館講座「山口喜三太先生を偲ぶ会」（開催日未定）

開催中止の企画展とイベント

- 企画展「北潟湖ほとりの古代役所と塩づくり - 細呂木阪東山遺跡 -」
- 企画展関連講演会
- 「細呂木阪東山遺跡を掘って分かったこと分らなかったこと」
- 夏休みイベント（甲冑展示、クイズラリー、文化財パズルなど）
- 縄文土器づくり体験
- 企画展「金津奉行展（仮称）」
- 企画展関連講演会「金津奉行について（仮称）」
- 企画展関連講座「福井藩の職制について（仮称）」

開催中のテーマ展

- テーマ展「昔の道具と暮らし～自然の素材がいっぱい～」
令和2年1月15日（水）～令和2年8月30日（日）

開催予定のテーマ展

- テーマ展「新規収蔵品展（仮称）」
令和2年10月27日（火）～令和3年5月9日（日）

..... コラム あわら市の文化財・史跡探訪
第28回 市指定文化財 安楽寺 弘法大師図像

この弘法大師図像は、北潟地区の安楽寺に伝わっているものです。大きさは縦129cm、横108cmで、筆致などから室町時代の作と推定され、平成元年12月1日に指定文化財となりました。

本図像に描かれている弘法大師は、牀座（脚を付けた高き床）に座り結跏趺坐（仏教の修行の際の坐法のひとつ）をしています。また、顔をやや右に向け、茶色の袈裟に全身を包み、右手には密教の法具である五拈杵、左手には念珠を持っています。牀座の下には杳が脱がれ、横には水瓶が置かれています。

この構図は、高野山御影堂に祀られている真如親王筆の弘法大師図像と同じです。このことから、本図像はこの弘法大師図像を写したか、高野山から拝領したと考えられます。



▲安楽寺 弘法大師図像

郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）
休館日 月曜日・第四木曜日（祝日の場合はその翌日）

開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）
問合せ ☎ 73-5158 FAX 73-1038 ✉ maibun@city.awara.lg.jp

アライグマ、ハクビシンにご用心！

今年は、市内各地でアライグマやハクビシンなどの目撃情報や被害報告が多数寄せられています。これらの動物は、農作物被害のほかに、家屋への侵入など生活環境にも被害を及ぼします。今回は、「動物の特徴」と「実際の被害例」、「対策」についてご紹介します。

1 ハクビシン、アライグマの特徴

特徴	ハクビシン	アライグマ
体は茶褐色	細長い尾	体は灰色
顔の中央に白い横線	細長い尾	縞模様の尾
桃色の鼻	目の下に白い横線	白いヒゲ
前足 後足	前足 後足	左右につながる目の周りの黒い横線

(出典：環境省)

2 実際の被害例

- ・家屋侵入で糞尿、臭いなどが発生している。
- ・天井裏から大きな足音や物音がする。
- ・空き家等にすみついている。
- ・農作物や庭の果実が食べられてしまう。

必ず許可を！

捕獲檻を設置する場合は、市への捕獲許可申請が必要です。ご自身で購入された檻でも市への申請が必要です。市までご連絡ください。

問合せ 鳥獣害対策室 ☎ 73-8033

3 4つの効果的な対策

- ① 誘引物となる野菜くずや生ごみを放置しない！
放置された野菜くずなどは小動物を呼び寄せるだけでなく、栄養状態を良くし、個体数を増やす一因にもなります。野菜くずは放置せず、生ごみは蓋つきのごみ箱に入れるなどして動物に食べられないようにしましょう。
- ② 不要な果実は撤去する！
食べる予定のないカキやクリなどの果実は、あらかじめ採取して動物のエサとして残さないようにしましょう。また、収穫しない、できない場合は、伐採することも考えましょう。
- ③ 庭や畑の雑草は刈り取る！ 木は剪定する！
雑草を刈り取り、小動物が隠れる場所を無くしましょう。また、伸びた枝は小動物が登って家屋に侵入する原因になるので剪定しましょう。必要に応じて侵入防止柵を設置するなどして、庭や畑をしっかり守りましょう。
- ④ 家屋に劣化、損傷箇所がないか確認する！
家の基礎部分にある通風口や屋根の継ぎ目が経年により劣化し、握りこぶし程度の穴ができると、小動物に侵入されてしまいます。日ごろから点検を行い、劣化や損傷箇所があれば修繕しましょう。

第31回全国「みどりの愛護」のつどい受賞団体のご紹介

国土交通大臣表彰



平成25年に設立したあわら市フラワーサポート協議会は、花と緑であふれる「魅力あるまち」を目指して活動しています。このたび、日ごろの活動が認められ、国土交通大臣から感謝状が贈られました。協議会会長の尾方喜代子さんは「今まで協力していただいた皆さまに感謝の気持ちを伝えたいです。今後は、1年でも長くこの活動を続けて、今の状態を維持していきたいです。」と話していました。

フラワーサポート協議会では、あわら湯のまち駅付近ロータリーのハンギングバスケットや季節のガーデンの管理などを行っています。また、役員が講師となって会員や地域住民に花の寄せ植え講座などの教室を開催したり、県内外の植物園や自然公園、活動組織などを視察して知識を増やしています。会員も募集していますので、花や緑に興味のある人は、お問い合わせください。一緒に楽しく活動しましょう。

問合せ 新幹線まちづくり課 ☎ 73-8027

福井県都市緑化功労者知事表彰

都市における緑化の推進や自然環境の保全などに対する功績が認められ、次の3つの団体が福井県知事から都市緑化功労者として表彰されました。

坪江地区南部・川を護る会



坪江地区南部地区の竹田川、権世川および熊坂川流域の5つの集落で組織し、堤防の草刈りを通して、河川環境の美化に取り組んでいます。

観音川を護る会



北潟湖へ流れる観音川流域の7つの集落で組織し、人と生き物が共生できる環境の保全と住みよい地域づくりを目指して活動しています。

細呂木地区創成会



細呂木地区の住民で組織し、ふるさとの活性化とにぎわいの創出を目的に、道路の清掃や草刈りなど快適な公共空間の保全に取り組んでいます。

熱中症にご注意！

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。

屋外だけでなく室内でも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。マスクを着用する機会が増えている今、熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り健康被害を防ぎましょう。



1 暑さを避けましょう

- ・外出時は、日傘や帽子を利用し、直射日光を受けないようにしましょう
- ・室内では、カーテンなどで日射を遮り、適度に扇風機やエアコンを使用しましょう
- ・感染症予防のため、窓開放などにより換気を行いましょう

2 適宜マスクを外しましょう

- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクを外しましょう

3 こまめに水分補給をしましょう

- ・のどが渇く前に、水分をこまめにとり、汗をかいたときには塩分の補給も忘れずに行いましょう

4 日ごろから健康管理をしましょう

- ・体温測定、健康チェックをしましょう

5 暑さに備えた体づくりをしましょう

- ・外出の際は、天気予報や「暑さ指数（WBGT）」を参考に、暑い日や気温が高い時間帯を避け、無理のない範囲で活動しましょう
- 暑さ指数（WBGT）は環境省ウェブサイト提供しています（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）